

連携プラグイン for 商奉行クラウド

入金伝票データ連携

ユーザーズマニュアル

はじめに

本資料は導入済みの連携プラグイン for 商奉行クラウドのご利用にあたり、その操作/設定方法を説明するものです。

本製品は、kintone アプリに読み込むプラグインとなっております。
プラグインを kintone に読み込み、作成したアプリに追加して、ご利用ください。

プラグインのセットアップについては、kintone の以下のマニュアルをご確認の上、導入ください。

プラグインの追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/add_plugin/plugin.html

セットアップ後、作成したアプリにプラグインを追加してご利用ください。

アプリにプラグインを追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/plugin.html

本製品では、プラグイン設定に奉行クラウドの接続情報を設定することで、奉行クラウドへデータの参照/登録が可能となります。

■ 目次

はじめに	ii
第1章 プラグイン(データ登録)	1
1.1 プラグインの設定	1
1.2 データの登録	5
第2章 プラグイン(データ参照)	8
2.1 プラグインの設定	8
2.2 データの参照	11
第3章 ご利用上の制限事項	12
3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限	12
3.2 商奉行クラウドの項目の登録・参照規則	13
第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認	14
4.1 tenantid (法人接続情報)の確認	14
4.2 API トークンの確認	15
第5章 利用期限の通知	17
5.1 利用期限 2 週間前	17
5.2 利用期限切れ	17
第6章 付録	18
6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合	18
6.2 入金伝票データの規則	21
6.3 入金伝票データの規則 (補足)	35

第1章 プラグイン(データ登録)

1.1 プラグインの設定

連携先の商奉行クラウドの tenantid (法人接続情報)と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。(設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。)

tenantid (法人接続情報)と API トークンの発行方法については、「第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリー：
プラグイン

連携プラグイン for 商奉行クラウド(入金伝票データ登録)



詳細

バージョン：1

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

本番環境 体験版環境

データ登録の設定

1件ずつ登録する 一括で登録する

連携対象kintoneフィールド名

連携対象となる値

連携後の値

項目のマッピング

- > 【ヘッダー情報】
- > 【証憑】
- > 【明細情報】

○ データ登録の設定

kintone から商奉行クラウドへデータを登録する方式を設定します。

- 『1件ずつ登録する』

kintone のレコードのデータを1件ずつ商奉行クラウドへ登録したい場合、『1件ずつ登録する』を選択してください。レコード追加画面でレコードを保存した後に、そのレコードのデータを商奉行クラウドへ連携し登録します。

- 『一括で登録する』

kintone のレコードのデータを一括で商奉行クラウドへ登録したい場合、『一括で登録する』を選択してください。レコード一覧画面に、「一括で登録する」ボタンが表示され、ボタン押すと kintone の複数のレコードのデータを一括で商奉行クラウドへ登録できます。

『一括で登録する』を選択した場合は、連携対象となる kintone のレコード判定のために、以下を設定してください。

- 『連携対象の kintone のフィールド名』

連携対象となるレコードを判定するための kintone のフィールド(「文字列(1行)」)を、このアプリの「フォーム」から追加し、「プラグインの設定」で指定してください。

- 『連携対象となる値』

連携対象となるレコードを判定する値を設定してください。

例) 未連携

設定しない場合(空の場合)は、『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値が空のレコードが連携対象となります。

- 『連携後の値』

商奉行クラウドへデータ登録に成功した後の値を設定してください。

例) 連携済

『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を、設定した値で更新します。

(登録したデータを二重に登録しないために設定すると便利です。)

データ登録の設定

1件ずつ登録する 一括で登録する

連携対象kintoneフィールド名

連携対象となる値

連携後の値

商奉行連携

スペース: 商奉行連携 アプリ: 入金伝票データ連携アプリ_登録

(すべて) [Filter] [Chart] [Upload]

1 - 2 (2件中)

レコード番号	入金区分	入金日付	伝票No.	入金情報No.	入金情報入金日付	入金情報回収種別	入金情報法人口座	入金情報入金額
17	1	2019/...	000126					
16	1	2019/...	000126					

1 - 2 (2件中)

「一括で登録する」ボタン

○ 項目のマッピング設定

連携先の商奉行クラウドの項目に対応する kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」「日付」です。

【明細情報】【控除明細情報】【付箋情報】の項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは1つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。

規定値を入力したい場合は、ドロップダウンから『規定値を入力』を選択し、テキストボックスに規定値となる値を入力してください。

項目にデータを連携したくない場合は、ドロップダウンから『入力なし』を選択してください。

項目のマッピング		
▼ 【ヘッダー情報】		
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)	規定値入力
入金区分：	入金区分(入金区分) ▼	<input type="text"/>
入金日付：	入金日付(入金日付) ▼	<input type="text"/>
伝票No.：	伝票No.(伝票No) ▼	<input type="text"/>

1.2 データの登録

- データ登録の設定で『1件ずつ登録する』を設定した場合
データの登録は画面上部にある保存ボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」
のメッセージが表示されれば、商奉行クラウドとの連携は完了です。

The screenshot shows the Kintone interface for data registration. At the top, there is a navigation bar with the Kintone logo and user information (Administrator). Below the navigation bar, there is a header for the application '商奉行連携'. The main content area contains a form for data registration. The form has a 'キャンセル' (Cancel) button and a '保存' (Save) button. The form fields are organized into sections: '登録フラグ' (Registration Flag) with a dropdown set to '未登録' (Not Registered); '【ヘッダー情報】' (Header Information) with fields for '入金区分' (Deposit Category) set to '2', '入金日付' (Deposit Date) set to '2020/05/25', and '伝票No.' (Invoice No.) set to '000276'; a table for '入金情報' (Deposit Information) with columns for '入金情報No.' (Deposit Information No.), '入金情報入金日付' (Deposit Information Deposit Date), '入金情報印取種別' (Deposit Information Stamp Type), '入金情報出入口番' (Deposit Information In/Out No.), and '入金情報入金額' (Deposit Information Amount); '入金先コード' (Deposit Code) set to '00000017', '入金先名' (Deposit Name) set to 'テック高松株式会社' (Tech Takamatsu Co., Ltd.), and '入金先事業所名' (Deposit Branch Name) set to '高松出張所' (Takamatsu Branch); and a '消費税計算' (Consumption Tax Calculation) field.

- データ登録の設定で『一括で登録する』を設定した場合
データの登録はレコード一覧画面にある一括で登録するボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」のメッセージが表示されれば、商奉行クラウドとの連携は完了です。

商奉行連携

スペース: 商奉行連携 アプリ: 入金伝票データ連携アプリ_登録

一括で登録する

レコード番号	登録フラグ	伝票No.	入金先コード	入金先名
19	未登録	000277	00000017	テック高松株式会社
18	未登録	000276	00000017	テック高松株式会社

kintone devrtatgj.cybozu.com の内容
商奉行クラウドにデータを登録しました

Administrator

OK

アプリ内検索

商奉行連携

スペース: 商奉行連携 アプリ: 入金伝票データ連携アプリ_登録

一括で登録する

レコード番号	登録フラグ	伝票No.	入金先コード	入金先名
19	未登録	000277	00000017	テック高松株式会社
18	未登録	000276	00000017	テック高松株式会社

ダイアログの OK ボタンを押すと連携したレコードの『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を『連携後の値』に設定した値で更新します。更新が完了すると以下のダイアログが表示され、OK ボタンを押すと表示中の画面を更新します。

devrtatgj.cybozu.com の内容
連携対象となるフィールドの値の更新が完了しました。
画面を更新して、再表示します。

Administrator

アプリ内検索

商奉行連携

スペース: 商奉行連携 アプリ: 入金伝票データ連携アプリ_登録

サンプル

1 - 2 (2件中)

レコード番号	登録フラグ	伝票No.	入金先コード	入金先名	
19	未登録	000277	00000017	テック高松株式会社	 
18	未登録	000276	00000017	テック高松株式会社	 

1 - 2 (2件中)

Administrator

アプリ内検索

商奉行連携

スペース: 商奉行連携 アプリ: 入金伝票データ連携アプリ_登録

サンプル

1 - 2 (2件中)

レコード番号	登録フラグ	伝票No.	入金先コード	入金先名	
19	登録済	000277	00000017	テック高松株式会社	 
18	登録済	000276	00000017	テック高松株式会社	 

1 - 2 (2件中)

第2章 プラグイン(データ参照)

2.1 プラグインの設定

連携先の商奉行クラウドの tenantid (法人接続情報)と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。(設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。)

tenantid (法人接続情報)と API トークンの発行方法については、「第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

The screenshot shows the configuration page for the '連携プラグイン for 商奉行クラウド(入金伝票データ参照)' plugin. The page is divided into several sections:

- カテゴリー:** プラグイン
- 詳細**
 - バージョン: 1
- 奉行の設定**
 - tenantid (法人接続情報): [Input field]
 - APIトークン: [Input field with masked characters]
 - 接続先環境:
 - 本番環境
 - 体験版環境
- 検索項目の設定**
 - 検索対象項目:
 - 入金日付
 - 伝票No.
 - 入金先コード
 - 入金先名
 - 請求部門コード
 - 請求プロジェクトコード
 - 入金部門コード
 - 入金プロジェクトコード
 - 回収方法コード
 - 登録日時
 - 修正日時
 - 最終更新日時
- 項目のマッピング**
 - > 【ヘッダー情報】
 - > 【証憑】
 - > 【明細情報】
 - > 【控除明細情報】
 - > 【付箋情報】

○ 検索項目の設定

連携先の商奉行クラウドから受注伝票データを参照するときを利用する検索項目を選択してください。検索項目として以下が設定でき、チェックボックスにチェックを入れることで利用することが可能です。

検索項目の設定

検索対象項目

- 入金日付
- 伝票No.
- 入金先コード
- 入金先名
- 請求部門コード
- 請求プロジェクトコード
- 入金部門コード
- 入金プロジェクトコード
- 回収方法コード
- 登録日時
- 修正日時
- 最終更新日時

チェックを入れた検索項目は、レコード一覧画面の検索枠に表示されます。

(範囲検索は、開始と終了の両方を入力して検索してください。片方のみで検索すると、その項目は無視して検索します。)

サンプル
🔍
📊

+
⚙️
⋮

1 - 100 (184件中) >

入金日付	伝票No.			
2021-05-24 ~ 2021-05-24	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>	
入金先コード		~	<input type="text"/>	入金先名
<input type="text"/>			<input type="text"/>	<input type="text"/>
請求部門コード		~	<input type="text"/>	請求プロジェクトコード
<input type="text"/>			<input type="text"/>	<input type="text"/>
入金部門コード		~	<input type="text"/>	入金プロジェクトコード
<input type="text"/>			<input type="text"/>	<input type="text"/>
回収方法コード		~	<input type="text"/>	登録日時
<input type="text"/>			<input type="text"/>	2021-05-24 ~ 2021-05-24
				修正日時
				2021-05-24 ~ 2021-05-24
				最終更新日時
				2021-05-24 ~ 2021-05-24

レコード番号	伝票No.	入金日付	入金先コード	入金先名	
368	000126	2019/09/30	00000009	新潟工業株式会社	✏️ ⓧ
367	000125	2019/09/30	00000009	新潟工業株式会社	✏️ ⓧ
366	000124	2019/09/30	00000008	神奈川物産株式会社	✏️ ⓧ
365	000123	2019/09/30	00000008	神奈川物産株式会社	✏️ ⓧ

○ 項目のマッピング設定

連携先の商奉行クラウドから参照したデータを入れる kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列 (1 行)」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」です。

【明細情報】【控除明細情報】【付箋情報】の項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは1つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。

「ラジオボタン」「ドロップダウン」を利用する場合は、予め取得できる値を設定してください。

参照しない項目には、『連携しない』を選択してください。

項目のマッピング	
▼ 【ヘッダー情報】	
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)
入金区分：	入金区分(入金区分) ▼
入金区分名：	入金区分名(入金区分名) ▼
入金日付：	入金日付(入金日付) ▼

2.2 データの参照

データの参照は、レコード一覧画面で行います。

検索枠の項目に検索条件を入力し、データ取得ボタンを押すと連携先の商奉行クラウドから、データを参照することができます。(参照は、kintone アプリの参照時点の全てのレコードを削除し、奉行クラウドから取得したデータでレコードを登録し直す動作となります。)データの参照が完了すると以下の様なダイアログが表示されます。OK ボタンを押すとレコード一覧画面を更新して、参照したデータを表示できます。

The screenshot shows a mobile application interface for 'devrtatgj.cybozu.com'. A dialog box is displayed over the main content, indicating that data has been successfully retrieved and the screen will be updated. Below the dialog, there is a search filter section with various input fields for criteria like '入金日付' (Date of payment), '伝票No.' (Invoice No.), '入金先コード' (Payment code), and '入金先名' (Payment name). A 'データ取得' (Get data) button is visible at the bottom right of the filter section. Below the filter section, a table displays a list of records with columns for 'レコード番号' (Record ID), '伝票No.' (Invoice No.), '入金日付' (Date of payment), '入金先コード' (Payment code), and '入金先名' (Payment name). Each record has a blue icon and a refresh icon on the right side.

レコード番号	伝票No.	入金日付	入金先コード	入金先名
368	000126	2019/09/30	00000009	新潟工業株式会社
367	000125	2019/09/30	00000009	新潟工業株式会社
366	000124	2019/09/30	00000008	神奈川物産株式会社
365	000123	2019/09/30	00000008	神奈川物産株式会社

第3章 ご利用上の制限事項

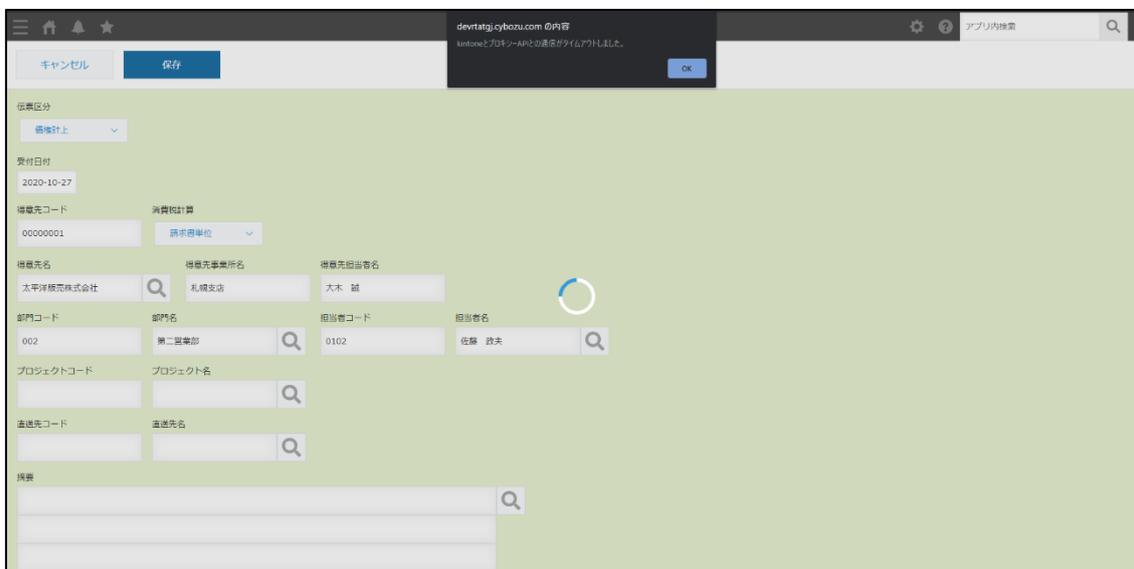
3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限

商奉行クラウドとのデータ連携では、kintone proxy を利用しています。

kintone proxy は、一定の時間レスポンスが無い場合、タイムアウトとなってしまう場合がございます。

マスター参照時に発生した場合、テキストボックスに入力する検索文字をさらに絞り込みが可能な文字に変更し、再度、検索をお試しください。

データ登録時に発生した場合、商奉行クラウドへログインし、該当するデータが登録されているか確認をお願いします。



The screenshot shows a web browser window displaying a Kintone proxy search form. The browser's address bar shows the URL 'devtstgkcybozu.com @内容' and the page title 'kintone proxy - APIとの連携システムアプリ'. The form is titled 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). It contains several input fields for search criteria, including '依頼区分' (Request Category) set to '依頼計上', '受付日付' (Acceptance Date) set to '2020-10-27', '得意先コード' (Customer Code) set to '00000001', '得意先名' (Customer Name) set to '太平洋電機株式会社', '得意先事業所名' (Customer Branch Name) set to '札幌支店', '得意先担当者名' (Customer Representative Name) set to '大木 誠', '部門コード' (Department Code) set to '002', '部門名' (Department Name) set to '第二営業部', '担当者コード' (Representative Code) set to '0102', and '担当者名' (Representative Name) set to '佐藤 誠夫'. A '検索' (Search) button is visible. A loading spinner is present in the center of the form, indicating a timeout or processing delay.

3.2 商奉行クラウドの項目の登録・参照規則

データ登録・参照時は、商奉行クラウドの項目毎のデータ規則に従って行ってください。各項目の詳細については「6.2 入金伝票データの規則」をご参照ください。

第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認

4.1 tenantid (法人接続情報)の確認

商奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある運用環境情報の法人管理を選択してください。法人情報にある法人接続情報をご利用ください。

- ① 商奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「運用環境情報」を選択、「法人管理」を選択し、法人情報画面で法人接続情報を確認できます。



4.2 API トークンの確認

商奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある外部サービス連携の連携アプリケーションを選択してください。連携アプリケーション一覧の画面からアクセストークンを発行してご利用ください。

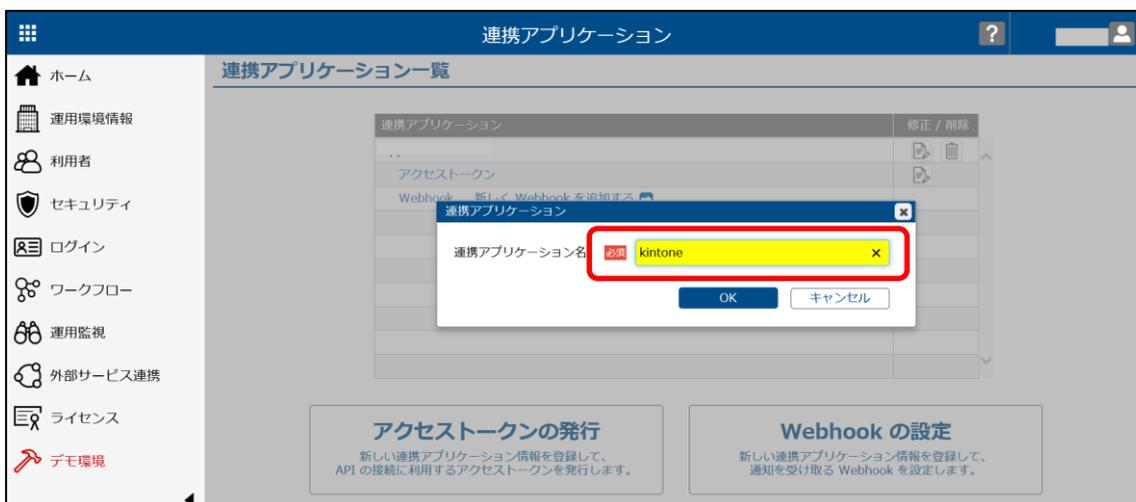
- ① 商奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「外部サービス連携」を選択、「連携アプリケーション」を選択し、連携アプリケーション一覧画面で「アクセストークンの発行」を押します。



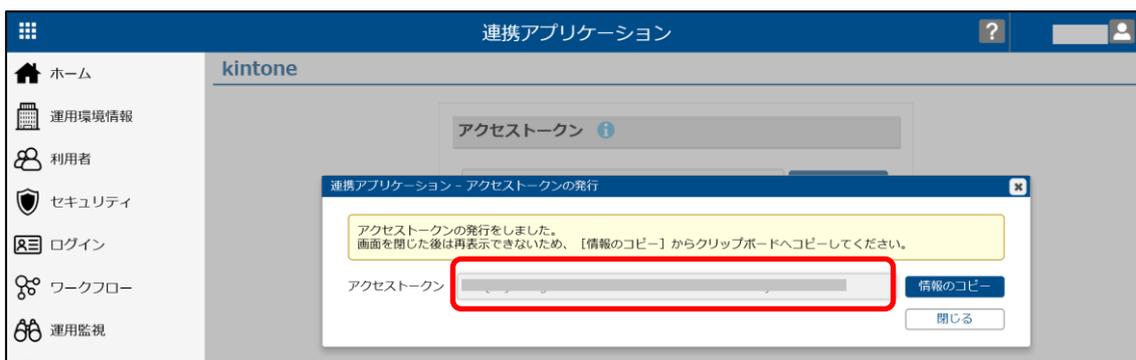
- ③ 連携アプリケーション名に「kintone」と入力し、「OK」を押します。
(連携アプリケーション名は、「kintone」以外でも問題ありません。)



- ④ アクセストークンの「発行」を押します。



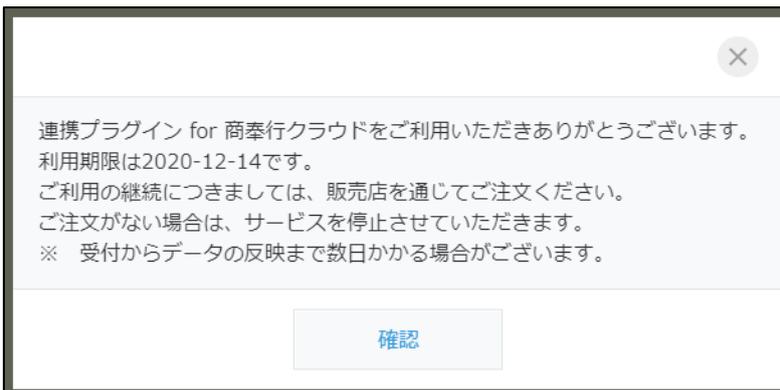
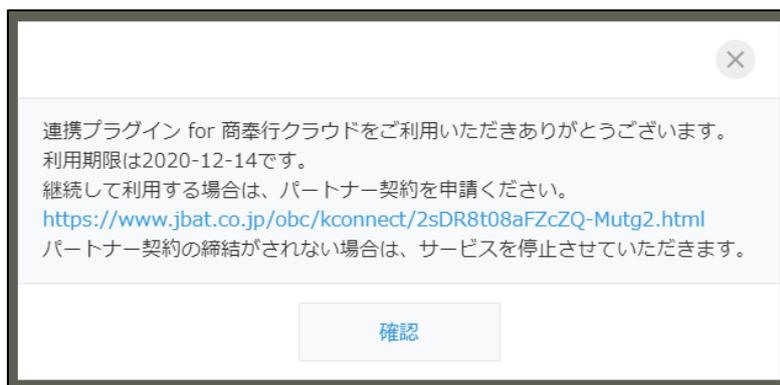
- ⑤ 発行されたアクセストークンを確認できます。



第 5 章 利用期限の通知

5.1 利用期限 2 週間前

利用期限 2 週間前になるとダイアログが表示されるようになります。利用の継続をお考えの場合は、ダイアログの案内に従い継続利用の手続きを行ってください。



5.2 利用期限切れ

利用期限切れになるとダイアログが表示されるようになり、連携プラグイン for 商奉行クラウドの機能をご利用できなくなります。再度のご利用をお考えの場合は、弊社窓口で利用申請を行ってください。



第6章 付録

6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合

kintone のアクション機能を利用することで、参照プラグインで参照したデータを再利用して、登録プラグインを利用しているアプリから、商奉行クラウドにデータ登録を行うことができます。

- ① 参照プラグインを利用しているアプリのアプリ設定を開き、設定タブのその他の設定にあるアクションを選択します。

入金伝票データ連携アプリ_参照

変更を中止 アプリを更新

フォーム 一覧 グラフ 設定

一般設定	カスタマイズ/サービス連携	その他の設定
アイコンと説明	プラグイン	カテゴリ
デザインテーマ	JavaScript / CSSでカスタマイズ	言語ごとの名称
プロセス管理	APIトークン	レコードのタイトル
通知	Webhook	高度な設定
アプリの条件通知	アクセス権	アクション
レコードの条件通知	アプリ	運用管理
リマインダーの条件通知	レコード	アプリの動作テスト

- ② 作成ボタンを選択します。

入金伝票データ連携アプリ_参照 > アプリの設定 > アクション

作成

アクション [? ヘルプ](#)

レコードのデータを別のアプリや同じアプリに転記するボタン（アクション）を作成できます。
アクションの作成は、画面左上の[作成]ボタンから行います。

[便利に使おうガイドブック vol.06 アクション編](#)

1 - 1 / 1件

	アクション名	コピー先のアプリ	最終更新者	最終更新日時	
+	再利用	入金伝票データ連携アプリ_登録	Administrator	2021-04-28 11:32	🗑️

- ③ アクションの設定画面で、アクション名を入力し、コピー先として、登録プラグインを利用しているアプリを選択します。
- ④ コピー先のアプリを選択後、フィールドの関連付けで、参照アプリの再利用したいデータがあるフィールドと登録アプリのフィールドの関連付けを行います。
- ⑤ 関連付けが完了したら保存ボタンを押して、アプリを更新してください。

アクションの設定

* アクション名:

コピー元:  入金伝票データ連携アプリ_参照

* コピー先:

フィールドの関連付け: すべてクリア

入金区分	→	入金区分	+ x
入金日付	→	入金日付	+ x
伝票No.	→	伝票No.	+ x
入金情報No.	→	入金情報No.	+ x
入金情報入金日付	→	入金情報入金日付	+ x
入金情報回収種別	→	入金情報回収種別	+ x
入金情報法人口座	→	入金情報法人口座	+ x
入金情報入金額	→	入金情報入金額	+ x
入金先コード	→	入金先コード	+ x

○アクションを利用する

アクション機能を設定すると参照アプリのレコード詳細画面にアクションボタンが表示されるようになります。再利用したいデータのレコード詳細画面で、そのボタンを押すと関連付けしたフィールドのデータを再利用した登録データに遷移することができます。

必要な情報を修正後、登録ボタンを押すと商奉行クラウドにデータを登録することができます。

↑ スペース: 商奉行連携 アプリ: 入金伝票データ連携アプリ_参照 一覧: サンプル

再利用

▽ 【ヘッダー情報】

入金区分	入金区分名	
2	前受金	
入金日付	伝票No.	
2020/05/25	000345	
入金情報No.	入金情報入金日付	入金情報回収種別
入金先コード	入金先名	入金先事業所名
00000017	テック高松株式会社	高松出張所

↑ スペース: 商奉行連携 アプリ: 入金伝票データ連携アプリ_登録

キャンセル **保存**

登録フラグ

未登録

▽ 【ヘッダー情報】

入金区分		
2		
入金日付	伝票No.	
2020/05/25	000345	
入金情報No.	入金情報入金日付	入金情報回収種別
入金先コード	入金先名	入金先事業所名
00000017	テック高松株式会社	高松出張所



6.2 入金伝票データの規則

項目名	データ	桁数	必要	説明
【ヘッダー情報】				
入金区分	数字	1		1：債権回収 2：前受金 『債権奉行クラウド』をご利用の場合 0：即時売上 1：債権回収 2：前受金 3：仮受金 空白データを受け入れた場合は、「0：即時売上」が設定されます。 「1：債権回収」を受け入れる場合は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【入金区分「1：債権回収」の入金伝票を受け入れる場合】参照
入金区分名	文字			参照のみ。
入金日付	文字	11	○	形式は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の「日付の形式」参照
伝票 No.	英数カナ	6-15		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。
入金情報 No.	英数カナ	6-15		この項目を指定して入金情報を特定できます。 ※該当の入金情報が複数検索された場合は、未受入となります。
入金情報入金日付	文字	11		この項目を指定して入金情報を特定できます。 入金情報を受け入れる場合は必須となります。 ※該当の入金情報が複数検索された場合は、未受入となります。
入金情報回収種別	数字	1		0：銀行振込 9：その他 この項目を指定して入金情報を特定できます。 ※該当の入金情報が複数検索された場合は、未受入となります。
入金情報法人口座	英数カナ	3		この項目を指定して入金情報を特定できます。
入金情報入金額	数字	13		※該当の入金情報が複数検索された場合は、未受入となります。
入金先コード	英数カナ	1-20	○	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。
入金先名	文字	60		この項目は、スポット得意先の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、入金先の得意先名（[得意先]メニューで設定）が設定されます。
入金先事業所名	文字	40		この項目は、スポット得意先の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、入金先の事業所名（[得意先]メニューで設定）が設定されます。
入金先略称	文字	60		参照のみ。
消費税計算	数字	1		0：明細単位 1：伝票単位 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・「入金区分」が「0：即時売上」 空白データを受け入れた場合は、入金先の消費税計算（[得意先]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。
消費税計算名	文字			参照のみ。

請求宛先コード	英数カナ	1-20		この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合、かつ以下のいずれかの場合に受け入れできます。 ・「入金区分」が「2：前受金」 ・「入金区分」が「0：即時入金」「1：債権回収」かつ、明細種別「2：前受金」の明細が含まれている 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「入金先コード」が設定されます。
請求宛先名	文字			参照のみ。
請求宛先事業所	文字	40		
請求宛先略称	文字	60		
請求部門コード	英数カナ	1-15		この項目は、以下のいずれかの場合に受け入れできます。 ・「入金区分」が「2：前受金」 ・「入金区分」が「0：即時入金」「1：債権回収」かつ、明細種別「2：前受金」の明細が含まれている 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、入金先の主売上部門（[得意先]メニューの[売上]ページで設定）が設定されます。
請求部門名	文字			参照のみ。
請求プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」の場合、かつ以下のいずれかの場合に受け入れできます。 ・「入金区分」が「2：前受金」 ・「入金区分」が「0：即時入金」「1：債権回収」かつ、明細種別「2：前受金」の明細が含まれている 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、入金先の主売上プロジェクト（[得意先]メニューの[売上]ページで設定）が設定されます。
請求プロジェクト名	文字			参照のみ。
債権区分	数字	1		0：非営業債権 1：営業債権 この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合、かつ以下のいずれかの場合に受け入れできます。 ・「入金区分」が「2：前受金」 ・「入金区分」が「0：即時入金」「1：債権回収」かつ、明細種別「2：前受金」の明細が含まれている 空白データを受け入れた場合は、請求宛先の伝票債権区分（[得意先]メニューの[売上]ページで設定）が設定されます。
債権区分名	文字			参照のみ。
請求単位	数字	1		0：債権伝票 1：請求締め この項目は、以下のいずれかの場合に受け入れできます。 ・「入金区分」が「2：前受金」

				・「入金区分」が「0:即時入金」「1:債権回収」かつ、明細種別「2:前受金」の明細が含まれている 空白データを受け入れた場合は、請求宛先の伝票債権区分（[得意先]メニューの[売上]ページで設定）が設定されます。
請求単位名	文字			参照のみ。
回収方法コード	英数カナ	4-10	△	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、入金先の回収方法（[得意先]メニューの[請求]ページで設定）が設定されます。 【必須になる条件】 入金先の回収方法（[得意先]メニューの[請求]ページで設定）が未設定の場合
回収方法名	文字			参照のみ。
入金科目コード	英数カナ	3-10		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、回収方法の入金科目（[回収方法]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。
入金科目名	文字			参照のみ。
入金補助科目コード	英数カナ	1-10		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、回収方法の入金補助科目（[回収方法]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。
入金補助科目名	文字			参照のみ。
入金部門コード	英数カナ	1-15		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、回収方法の入金部門（[回収方法]メニューの[基本]ページで設定）によって設定されます。
入金部門名	文字			参照のみ
入金プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、回収方法の入金プロジェクト（[回収方法]メニューの[基本]ページで設定）によって設定されます。
入金プロジェクト名	文字			参照のみ。
入金工程／工種コード	英数カナ	1-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』をご利用の場合 ・工程／工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する

				桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、回収方法の入金工程／工種（[回収方法]メニューの[基本]ページで設定）の設定により受け入れられます。
入金工程／工種名	文字			参照のみ。
入金処理額	数字	13		マイナスも可 形式は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【債権明細を自動で作成する場合】参照
振込手数料	数字	13		
摘要	文字	200		
法人口座コード	英数カナ	3	△	この項目は、回収方法の入金種別が「0：銀行振込」の場合に受け入れられます。 【必須になる条件】 空白データを受け入れた場合は、回収方法の法人口座（[回収方法]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 上記が未設定の場合は、必須です。
仕訳作成対象	数字	1		0：対象外 1：対象 空白データを受け入れた場合は、「1：対象」が設定されます。
登録日時	文字	19		・抽出時の形式 和暦の形式でも西暦の形式でも記載できます。 【例】 "2020/4/1 10:30:20" "20/4/1 10:30:20" "2020年4月1日 10:30:20" "令和2年4月1日 10:30:20" ※月日が1桁の場合は、1桁のままでも、「スペース」を付けて2桁にしても記載できます。 ・出力結果は必ず西暦になります。
修正日時	文字	19		
最終更新日時	文字	19		
【証憑】				
証憑 No. 1	英数カナ	15		参照のみ。
証憑ファイルパス 1	文字	2083		
証憑ファイル名 1	文字	256		
証憑ファイルキー 1	文字	32		
証憑 No. 2	英数カナ	15		
証憑ファイルパス 2	文字	2083		
証憑ファイル名 2	文字	256		
証憑ファイルキー 2	文字	32		
証憑 No. 3	英数カナ	15		
証憑ファイルパス 3	文字	2083		
証憑ファイル名 3	文字	256		
証憑ファイルキー 3	文字	32		

証憑 No. 4	英数カナ	15		
証憑ファイルパス 4	文字	2083		
証憑ファイル名 4	文字	256		
証憑ファイルキー 4	文字	32		
証憑 No. 5	英数カナ	15		
証憑ファイルパス 5	文字	2083		
証憑ファイル名 5	文字	256		
証憑ファイルキー 5	文字	32		
【明細情報】※明細種別が「14：付箋」の場合は受け入れできません。				
明細行番号	数字	3		参照のみ。
明細種別	数字	2	△	<p>「入金区分」が「0：即時売上」の場合 0：売上 1：消費税 2：前受金 12：外税調整 13：内税調整 14：付箋</p> <p>「入金区分」が「1：債権回収」の場合 2：前受金 11：債権 14：付箋</p> <p>「入金区分」が「2：前受金」の場合 2：前受金 14：付箋</p> <p>「入金区分」が「3：仮受金」の場合 3：仮受金 14：付箋</p> <p>「入金区分」が「3：非連結」の場合 5：非連結 14：付箋</p> <p>「12：外税調整」「13：内税調整」しかない伝票は受け入れできません。</p> <p>【必須になる条件】 控除明細以外の場合</p>
明細種別名	文字			参照のみ。
債権 No.	英数カナ	6-15	△	<p>この項目は、「入金区分」が「1：債権回収」の場合に受け入れできません。</p> <p>【必須になる条件】 「入金区分」が「1：債権回収」の場合 ただし、債権残高の消込の場合は指定不要です。 詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【入金区分「1：債権回収」の支払伝票を受け入れる場合】参照</p>
債権日付	文字	11		この項目は、「入金区分」が「1：債権回収」の場合に受け入れできません。
債権伝票請求先コード	英数カナ	1-20		詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【入金区分「1：債権回収」の支払伝票を受け入れる場合】参照
債権伝票請求先名	文字			参照のみ。
債権伝票請求部門コード	英数カナ	1-15		<p>この項目は、「入金区分」が「1：債権回収」の場合に受け入れできません。</p> <p>詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【入金区分「1：債権回収」の支払伝票を受け入れる場合】参照</p>
債権伝票請求部門名	文字			参照のみ。

債権伝票OBCiD	英数カナ	50		この項目は、「入金区分」が「1：債権回収」の場合に受け入れできません。
債権伝票明細行番号	数字	3		詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【入金区分「1：債権回収」の支払伝票を受け入れる場合】参照
明細回収先コード	英数カナ	1-20		この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に使用できます。
明細回収先名	文字			参照のみ。 この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に使用できます。
明細回収先事業所	文字	40		この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に使用できます。
明細回収先略称	文字	60		
明細回収部門コード	英数カナ	1-15		この項目は、「明細種別」が「11：債権」の場合は受け入れできません。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 「入金区分」が「0：即時売上」かつ、空白データを受け入れた場合は、入金先の売上主部門（[得意先]メニューの[販売]ページで設定）が設定されます。
明細回収部門名	文字			参照のみ。
明細回収プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、「明細種別」が「11：債権」の場合は受け入れできません。 この項目は、プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 「入金区分」が「0：即時売上」かつ、空白データを受け入れた場合は、入金先の売上主プロジェクト（[得意先]メニューの[販売]ページで設定）が設定されます。
明細回収プロジェクト名	文字			参照のみ。
明細回収工程／工種コード	英数カナ	1-20		この項目は、「明細種別」が「11：債権」の場合は受け入れできません。 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』をご利用の場合 ・工程／工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 「入金区分」が「0：即時売上」かつ、空白データを受け入れた場合、入金先の売上主工程／工種（[得意先]メニューの[販売]ページで設定）が設定されます。
明細回収工程／工種	文字			参照のみ。

名				
明細科目コード	英数カナ	3-10	△	この項目は、「明細種別」が「11：債権」の場合は受け入れできません。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 【必須になる条件】 付箋色と付箋メモを指定していない場合
明細科目名	文字			参照のみ。
明細補助科目コード	英数カナ	1-10		この項目は、「明細種別」が「11：債権」の場合は受け入れできません。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。
明細補助科目名	文字			参照のみ。
明細消費税率種別	数字	1		0：標準 1：軽減 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・明細種別が「0：売上」「1：消費税」 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①明細補助科目の消費税率種別（[販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定） ②明細科目の消費税率種別（[販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定）
明細消費税率種別名	文字			参照のみ。
明細消費税率	数字	2		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・明細種別が「0：売上」「1：消費税」 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「入金日付」と「明細消費税率種別」をもとに設定されます。
明細申告書計算区分コード	数字	4		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・明細種別が「0：売上」「1：消費税」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①入金先の「請求先優先に設定する」（[得意先]メニューの[消費税]ページで設定）にチェックが付いている場合は、入金先の「取引発生区分」を加味して設定されます。 ②明細補助科目の申告書計算区分（[販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定） ③明細科目の申告書計算区分（[販売管理科目]メニューの[消費

				税]ページで設定)
明細消費税自動計算	数字	1		<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・明細種別が「0：売上」「1：消費税」 <p>課税の対象外の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合、以下の優先順位で設定されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①入金先の「請求先優先に設定する」([得意先]メニューの[消費税]ページで設定)にチェックが付いている場合は、入金先の「取引発生区分」を加味して設定されます。 ②明細補助科目の消費税自動計算([販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定) ③明細科目の消費税自動計算([販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定)
明細消費税端数処理	数字	1		<p>0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・明細種別が「0：売上」「1：消費税」 <p>課税の対象外または、「明細消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合、以下の優先順位で設定されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①入金先の「請求先優先に設定する」([得意先]メニューの[消費税]ページで設定)にチェックが付いている場合は、入金先の「取引発生区分」を加味して設定されます。 ②明細補助科目の端数処理([販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定) ③明細科目の端数処理([販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定)
明細事業区分コード	数字	4		<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・事業区分([販売管理規程]メニューの[消費税]ページで設定)が「使用する」 <p>課税の対象外の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①入金補助科目の事業区分([販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定) ②入金科目の事業区分([販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定)
明細金額	数字	13		<p>マイナスも可</p> <p>形式は、「6.3 入金伝票データの規則(補足)」の「数量・金額の形式」参照</p>

				この項目は、明細種別が「12：外税調整」「13：内税調整」の場合 は受け入れできません。
明細消費税	数字	13		マイナスも可 形式は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形 式」参照 この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れでき ます。 課税の対象外または、「明細消費税自動計算」が「0：計算しない」 の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「明細金額」をもとに設定されま す。
明細摘要	文字	200		
【控除明細情報】※控除種別が「14：付箋」の場合は受け入れできません。				
控除行番号	数字	3		参照のみ。
控除種別	数字	2		「入金区分」が「0：即時売上」の場合 2：入金調整 4：値引 5：手数料負担 13：付箋 「入金区分」が「1：債権回収」の場合 0：前受金 1：仮受金 2：入金調整 3：消費税違算 4：値引 5： 手数料負担 6：非連結 13：付箋 「入金区分」が「2：前受金」の場合 0：前受金 1：仮受金 2：入金調整 4：値引 5：手数料負担 13： 付箋 「入金区分」が「3：仮受金」の場合 1：仮受金 2：入金調整 4：値引 5：手数料負担 13：付箋 「入金区分」が「7：非連結」の場合 2：入金調整 4：値引 5：手数料負担 13：付箋 「1：仮受金」は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に指定でき ます。 控除明細のみの伝票は受け入れできません。
控除種別名	文字			参照のみ。
控除種別(補助)	数字	1	△	「控除種別」が「0：前受金」の場合 0：充当 1：返金 「控除種別」が「1：仮受金」の場合 0：充当 1：返金 「控除種別」が「2：入金調整」の場合 0：入金調整 1 1：入金調整 2 2：入金調整 3 3：入金調整 4 4：入金調整 5 5：入金調整 6 「控除種別」が「6：非連結」の場合 0：充当 【必須になる条件】 「控除種別」が「0：前受金」「2：入金調整」「6：非連結」の場合
控除種別(補助)名	文字			参照のみ。
振替元 No.	英数カナ	6-15	△	この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：

				非連結」の場合に受け入れできます。 【必須になる条件】 前受金・仮受金・非連結の充当の場合 ただし、前受金残高・仮受金残高の充当の場合は指定不要です。 詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【前受金・仮受金・非連結の充当、前受金・仮受金の返金をする場合】参照
振替元入金日付	文字	11		この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合に受け入れできます。 前受金残高・仮受金残高の充当の場合は指定不要です。 詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【前受金・仮受金・非連結の充当、前受金・仮受金の返金をする場合】参照
振替元入金先コード	英数カナ	1-20		この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合に受け入れできます。 詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【前受金・仮受金・非連結の充当、前受金・仮受金の返金をする場合】参照
振替元入金先名	文字			参照のみ。
振替元入金部門コード	英数カナ	1-15		この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合に受け入れできます。 詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【前受金・仮受金・非連結の充当、前受金・仮受金の返金をする場合】参照
振替元入金部門名	文字			参照のみ。
振替元OBCiD	英数カナ	50		この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合に受け入れできます。 詳細は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【前受金・仮受金・非連結の充当、前受金・仮受金の返金をする場合】参照
振替元明細行番号	数字	3		この項目は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の【前受金・仮受金・非連結の充当、前受金・仮受金の返金をする場合】参照
控除回収先コード	英数カナ	1-20		この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に使用できます。
控除回収先名	文字			参照のみ。 この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に使用できます。
控除回収先事業所	文字	60		この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に使用できます。
控除回収先略称	文字	60		
控除部門コード	英数カナ	1-15		この項目は、「控除種別（補助）」が「0：充当」の場合は受け入れできません。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「控除種別」「控除種別（補助）」によって以下のように設定されます。 「控除種別」が「0：前受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」 ⇒入金部門 「控除種別」が「1：仮受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」 ⇒入金部門 「控除種別」が「2：入金調整」⇒入金調整の部門（[販売管理規程]メニューの[債権管理]ページで設定）
控除部門名	文字			参照のみ。

控除プロジェクトコード	英数カナ	4-20		<p>この項目は、「控除種別（補助）」が「0：充当」の場合は受け入れできません。</p> <p>プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。</p> <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「控除種別」「控除種別（補助）」によって以下のように設定されます。</p> <p>「控除種別」が「0：前受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金プロジェクト</p> <p>「控除種別」が「1：仮受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金プロジェクト</p> <p>「控除種別」が「2：入金調整」⇒入金調整のプロジェクト（[販売管理規程]メニューの[債権管理]ページで設定）</p>
控除プロジェクト名	文字			参照のみ。
控除工程／工程コード	英数カナ	1-20		<p>この項目は、「控除種別（補助）」が「0：充当」の場合は受け入れできません。</p> <p>プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。</p> <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「控除種別」「控除種別（補助）」によって以下のように設定されます。</p> <p>「控除種別」が「0：前受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金工程／工程コード</p> <p>「控除種別」が「1：仮受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金工程／工程コード</p> <p>「控除種別」が「2：入金調整」⇒入金調整の工程／工程（[販売管理規程]メニューの[債権管理]ページで設定）</p>
控除工程／工程名	文字			参照のみ。
控除科目コード	英数カナ	3-10		<p>この項目は、「控除種別（補助）」が「0：充当」の場合は受け入れできません。</p> <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「控除種別」「控除種別（補助）」によって以下のように設定されます。</p> <p>「控除種別」が「0：前受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金科目</p> <p>「控除種別」が「1：仮受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金科目</p> <p>「控除種別」が「2：入金調整」⇒入金調整の科目（[販売管理規程]</p>

				メニューの[債権管理]ページで設定)
控除科目名	文字			参照のみ。
控除補助科目コード	英数カナ	1-10		この項目は、「控除種別（補助）」が「0：充当」の場合は受け入れできません。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「控除種別」「控除種別（補助）」によって以下のように設定されます。 「控除種別」が「0：前受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金補助科目 「控除種別」が「1：仮受金」、「控除種別（補助）」が「1：返金」⇒入金補助科目 「控除種別」が「2：入金調整」⇒入金調整の科目（[販売管理規程]メニューの[債権管理]ページで設定）
控除補助科目名	文字			参照のみ。
控除消費税率種別	数字	1		0：標準 1：軽減 この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合は受け入れできません。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①控除補助科目の消費税率種別（[販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定） ②控除科目の消費税率種別（[販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定）
控除消費税率種別名	文字			参照のみ。
控除消費税率	数字	2		10、8、5、3 この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合は受け入れできません。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「入金日付」と「控除消費税率種別」によって設定されます。
控除申告書計算区分コード	数字	4		この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①控除補助科目の申告書計算区分（[販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定） ②控除科目の申告書計算区分（[販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定）
控除消費税自動計算	数字	1		この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合は受け入れできません。 0：自動計算しない 1：税抜金額から計算 2：税込金額から計算 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。

				<p>①控除補助科目の消費税自動計算（[販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定）</p> <p>②控除科目の消費税自動計算（[販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定）</p>
控除消費税端数処理	数字	1		<p>この項目は、「控除種別」が「0：前受金」、「1：仮受金」または「6：非連結」の場合は受け入れできません。</p> <p>0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て</p> <p>課税の対象外または、「控除消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①控除補助科目の端数処理（[販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定）</p> <p>②控除科目の端数処理（[販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定）</p>
控除事業区分コード	数字	4		<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『債権奉行クラウド』をご利用の場合 ・事業区分（[販売管理規程]メニューの[消費税]ページで設定）が「使用する」 ・「控除種別」が「2：入金調整」 <p>課税の対象外の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①控除補助科目の事業区分（[販売管理補助科目]メニューの[消費税]ページで設定）</p> <p>②控除科目の事業区分（[販売管理科目]メニューの[消費税]ページで設定）</p>
控除額	数字	13		<p>マイナスも可</p> <p>形式は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p>
控除消費税	数字	13		<p>マイナスも可</p> <p>形式は、「6.3 入金伝票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p> <p>課税の対象外または、「控除消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「控除額」、「控除消費税率」をもとに設定されます。</p>
控除摘要	文字	200		
【付箋情報】				
付箋色	数字	1	△	<p>0：赤 1：青 2：黄 3：橙 4：緑 5：紫</p> <p>「付箋メモ」を設定し、空白データを受け入れた場合は、「0：赤」が設定されます。</p> <p>【必須になる条件】</p> <p>「明細科目コード」を指定していない場合は、「付箋色」または「付</p>

				箋メモ」が必須です。
付箋色名	文字			参照のみ。
付箋メモ	文字	400	△	【必須になる条件】 「明細科目コード」を指定していない場合は、「付箋色」または「付箋メモ」が必須です。

6.3 入金伝票データの規則（補足）

日付の形式			
和暦の形式でも西暦の形式でも受け入れられます。			
和暦の場合		西暦の場合	
令和 01 年 05 月 01 日	平成 31 年 04 月 01 日	2019 年 04 月 01 日	
R01/05/01	H31/04/01	2019/04/01	
R01.05.01	H31.04.01	2019.04.01	
R01-05-01	H31-04-01	2019-04-01	
※月日が 1 桁の場合は、1 桁のままでも、「スペース」を付けて 2 桁にしても受け入れられます。 【例】「R01-05-01」は、「R1-5-1」または「R 1- 5- 1」でも受け入れ可能			
数量・金額の形式			
○：受入可能		×：受入不可	
	例		例
3 桁区切りなし	123456	3 桁区切りあり	123, 456
ダブルクォーテーション	"123, 456"		
【入金区分「1：債権回収」の入金伝票を受け入れる場合】			
以下の項目を設定して消込対象の債権明細を指定します。			
「債権 No.」 必須 伝票 No. を指定します。			
「債権日付」			
「債権伝票請求先コード」			
「債権伝票請求部門コード」			
「債権伝票 O B C i D」			
「債権伝票明細行番号」			
<ul style="list-style-type: none"> 該当する債権伝票が複数あり、消込対象を特定できない場合は未受入になります。 「債権 No.」だけでは重複する可能性がある場合は、「債権日付」「債権伝票請求先コード」「債権伝票請求部門コード」「債権伝票 O B C i D」を設定してください。 「債権伝票明細行番号」が空白の場合は、該当の債権伝票の中で上から順に消込可能な明細が自動的に特定されます。 			
【債権明細を自動で作成する場合】			
入金区分が「1：債権回収」の場合に、入金情報や入金処理額から債権明細を自動的に作成して受け入れられます。入金情報がある場合は、入金情報を指定します。入金情報がない場合は、入金処理額を設定します。			
<ul style="list-style-type: none"> 入金情報を指定して受け入れる場合に設定する項目 指定した入金情報の未処理額の範囲で自動的に債権明細が作成されます。 <ul style="list-style-type: none"> ○設定する項目 <ul style="list-style-type: none"> 「入金区分」 「1：債権回収」を指定します。 「入金情報 No.」 「入金情報入金日付」 「入金情報回収種別」 			

「入金情報法人口座」
「入金情報入金額」
○設定しない項目
「明細種別」
「控除種別」

- 入金処理額を設定して受け入れる場合に設定する項目（入金情報がない場合）
設定された入金処理額の範囲で自動的に債権明細が作成されます。

○設定する項目
「入金区分」 「1：債権回収」を指定します。
「入金処理額」
「振込手数料」
○設定しない項目
「明細種別」
「控除種別」

- 入金情報または入金処理額から作成される明細の例

○未消込の債権

- ・ 債権伝票 No. 01：未消込金額 15,000 円
- ・ 債権伝票 No. 02：未消込金額 10,000 円

○指定した入金情報または入金処理額

- ・ 入金額または入金処理額： 19,780 円
- 振込手数料： 220 円

○作成される明細

- ・ 債権明細 債権伝票 No. 01：金額 15,000 円
債権伝票 No. 02：金額 5,000 円
- ・ 控除明細 手数料負担：金額 220 円

- ・ 充当できる前受金がある場合は、自動的に充当されます。
- ・ 指定した入金情報に振込手数料が入力されている場合、または「振込手数料」で指定している場合は、手数料負担の控除明細が自動的に作成されます。
- ・ 入金情報を指定せずに「入金処理額」を指定した場合は、自動的に入金情報が作成されます。
- ・ 入金情報と「入金処理額」・「振込手数料」の両方を設定した場合、「入金処理額」・「振込手数料」の範囲内で債権明細が自動作成されます。

【前受金・仮受金・非連結の充当、前受金・仮受金の返金をする場合】

以下の項目を設定して充当・返金対象を指定します。

「振替元 No.」 必須 伝票 No. を指定します。
「振替元入金日付」
「振替元入金先コード」
「振替元入金部門コード」
「振替元 O B C i D」
「振替元明細行番号」

- 該当する入金伝票が複数あり、充当・返金対象を特定できない場合は未受入になります。
「振替元 No.」だけでは重複する可能性がある場合は、「振替元入金日付」「振替元入金先」「振替元入金部門」「振替元OBCiD」を設定してください。
- 「振替元明細行番号」が空白の場合は、該当の入金伝票の中で上から順に消込可能な明細が自動的に特定されます。

連携プラグイン for 商奉行クラウド 入金伝票データ連携 ユーザーズマニュアル

2022 年 08 月 04 日 第 5 版発行